



M3型 溶融亜鉛メッキ物品棚

組立・取扱説明書

このたびは、TRUSCO・スチール棚をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は、棚板の増減・交換・補充が簡単にできます。また部品についても、ネジレや横ブレ等が生じない高精度を実現しています。素材は耐食性に優れた溶融亜鉛メッキ鋼板を使用しておりますので、サビ・キズ等に強く、汚れも目立ちません。湿気の多い場所での保管に威力を発揮します。

M3型の棚板1段当りの耐荷重は、均等で**300kg**、1台当りの最大荷重は**2500kg**です。

※「均等の耐荷重」とは、棚板の表面に均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さの合計量をいいます。

安全上のご注意 **必ずお守りください**

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



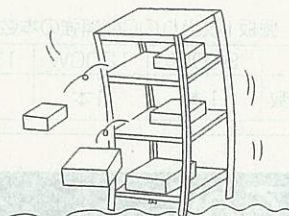
警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■ **耐荷重以上の荷物を置かない**
棚が傾いたり、棚板が曲がったりして危険です。同梱の「警告表示シール」を必ず貼付し、表示に従ってください。

■ **足をかけたり、よじのぼったりしない**
転倒したり、棚板が外れたり、足を滑らせて、けがをするおそれがあります。同梱の「警告表示シール」を必ず貼付し、表示に従ってください。

■ **不安定な場所に設置しない**
棚が倒れたり、荷物が落下して、けがをするおそれがあります。



均等荷重 **300kg**/段当り



棚板足掛厳禁



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■ **最上段棚板に荷物を置かない**
棚が倒れたり、荷物が落下して、けがをするおそれがあります。

■ **棚が変形したままで使用しない**
棚が倒れたり、荷物が落下して、けがをするおそれがあります。

■ **必ず補強リブを使用する**
棚板には必ず付属のC型補強を所定の位置にセットしてご使用下さい。

■ **組立はウラ面の手順に従う**
手順を誤ると、組立中に部品が外れたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

■ **支柱の切断など、改造をしない**
棚が不安定になり危険です。また切断面のバリなどで、けがをすることがあります。

■ **荷物は静かに丁寧に載せる**
乱暴に載せると棚板のたわみやね上がり、荷物の落下で、けがをするおそれがあります。

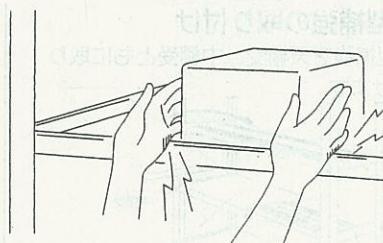
■ **解体移設するときは、組立手順の逆に行う**
部品の取り外し手順を誤ると、部品の落下・転倒のおそれがあります。

■ **危険物(薬品・壊れ物等)を置かない**
破損してけがをしたり、健康を害するおそれがあります。

■ **棚板をウラ向にして使用しない**
指などを折り返し部にひっかけ、けがをすることがあります。

■ **棚板のつぎ目など、隙間に指を入れない**
切断面や取付穴のカドなどで、けがをするおそれがあります。

■ **棚に寄りかからない**
棚が傾いて荷物が落下したり、棚が倒れて、けがをするおそれがあります。



組み立てるまえに

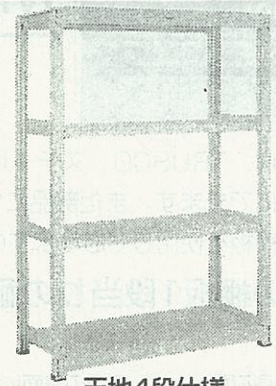
梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。
 ※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。
 ※「警告表示シール」を同梱しています。棚板前面に貼付してください。
 ※枕木を2本ご用意ください。組み立てが容易になり、棚や床への傷つきを軽減します。
 ※組み立て時は、必ず軍手等の保護具を着用してください。

TZM3型

均等荷重 300kg/段当り



棚板足掛厳禁

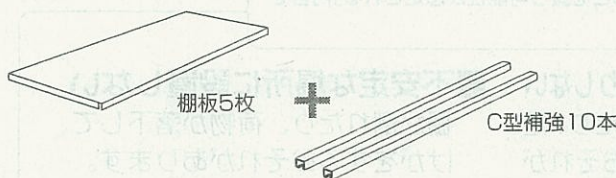


天地4段仕様

品番例	TZM3	6	3	6	4	B
機種 (均等過重)	TZM3=300kgタイプ					
高さ	6=1800mm 7=2100mm					
間口	3= 900mm 4=1200mm 5=1500mm 6=1800mm					
奥行	5=471mm 6=571mm 8=921mm					
増結タイプ (単体の場合は無記号)						
棚板段数 (天井)						

●天地5段仕様の場合

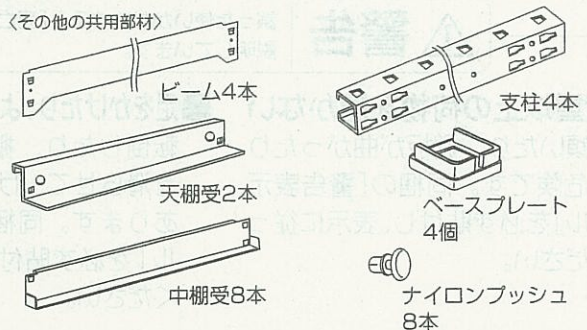
梱包内容 段数が増減した場合、棚板・中棚受・C型補強の数が増減します。



棚板1枚当りのC型補強の本数

開口寸法	900W	1200W	1500W	1800W
C型補強本数	1本	1本	2本	2本

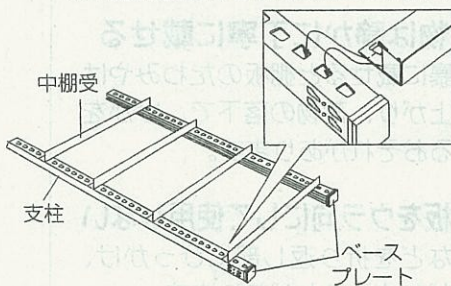
〈その他の共用部材〉



組み立てかた

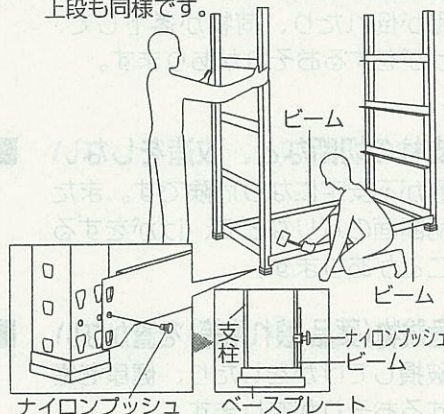
1 柱枠の組立て

ベースプレートを取り付けた支柱2本を向かい合わせに床に置き、中棚受をはめ込みます。
 最下段は下から2つ目と3つ目の角孔にはめ込んでください。
 ※支柱の角孔は台形をしており、短辺側が下になるようにします。
 ※中段の調整ピッチは、50mm×Nです。



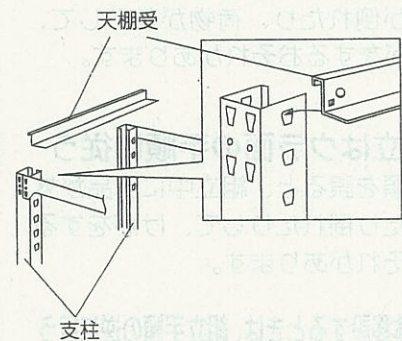
2 ビームの取り付け

左右の柱枠を立て、2つをつなぐようにビームを下段からはめ込みます。木のハンマー等で軽くたたいたあと、ナイロンプッシュを差し込んでください。上段も同様です。



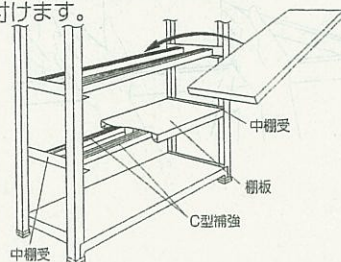
3 天棚受の取り付け

支柱の上から1つ目の角孔に天棚受をはめ込みます。これで棚枠の完成です。垂直・水平を確認してください。



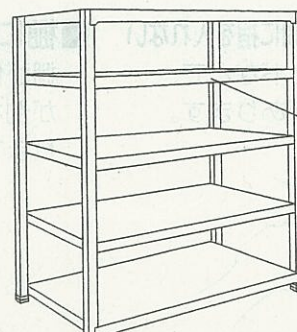
4 C型補強の取り付け

C型補強を天棚受、中棚受ともに取り付けます。



5 警告表示シールの貼付

上から2段目の棚板の前面に棚に合った耐荷重の「警告表示シール」を貼ります。



均等荷重 300kg/段当り

棚板足掛厳禁